

競技観戦のマナー

人馬の演技・走行が終わったら
拍手で称えましょう！



馬はとっても臆病で繊細な動物です！
馬のキモチを考えた観戦をしましょう。

馬場の近くを走らないで！



馬場の近くでの日傘禁止



ビニール袋の音に注意！



カメラのフラッシュ禁止！



柵に触ったりよりかかるのは禁止！
柵からカメラレンズを出さないよう注意



競技中はおしずかに



馬術競技は
馬のウェルフェア（福祉）に
配慮しています

競技中や競技後に出血が見られた場合などは
失権となる場合もあります。



馬と人が織りなす、
究極のパートナーシップ、「馬術」。
その美しさと興奮を、
あなたも体感してみませんか？

馬場馬術競技とは

20m×60mの長方形の競技アリーナ内で行う演技の正確さや美しさを競う競技で、《常歩（なみあし）》、《速歩（はやあし）》、《駆歩（かけあし）》という3種類の歩き方を基本に、様々なステップを踏んだり、图形を描いたりするものです。演技内容がすべて決められている規定演技と、決められた運動を取り入れて演技を構成し、音楽をつけて行う自由演技があります。

…三種の歩法の紹介…



競馬における全力疾走の歩様



馬場馬術 競技の審査

複数の審判員が運動ごとにつける0～10点の点数と、演技全体の印象について採点した点数を合計します。自由演技においては、芸術的評価（音楽の解釈や图形のユニークさなど）が加わります。それぞれの得点を満点で割ってパーセンテージで表し、その数字が大きい人馬が上位となります。

〈採点の基準〉

10点	優秀	4点	不十分
9点	極めて良好	3点	やや不良
8点	良好	2点	不良
7点	おおむね良好	1点	極めて不良
6点	基本的な要求を満たしている	0点	不実施
5点	やや不十分		



馬場馬術観戦のポイント!

●馬と騎乗者とのハーモニー

馬と騎乗者の深い信頼関係と一体感が魅力! わずかな合図で複雑な動きを正確に実行する姿は芸術的。

●細部まで計算された美意識

馬の毛並み、選手の服装、たてがみや尻尾の手入れまで、細部にわたる美意識が求められます。お気に入りの美しい人馬を見つけてみてください。

馬が踊っている?



馬場馬術のスゴさは、騎手は脚や体重移動など、ごくわずかな合図で馬をコントロールしています。その繊細なコミュニケーションを感じてみてください。

馬の集中力



たくさんの観客がいる中でも、騎手の指示に集中し、演技を続ける馬の賢さも魅力です。

馬場馬術競技の
解説動画はコチラ!



障害馬術競技とは

競技アリーナに設置された様々な色や形の障害物を、決められた順番通りに飛越、走行するもので、障害物の落下や不従順などのミスなく、早くゴールすることが求められます。障害物の大きさは、オリンピックなどのトップレベルの大会では、高さは160cm、幅（奥行き）は200cmを超えるものもあります。

障害馬術観戦のポイント！

●決められたコースを、いかに速く駆け抜けるか

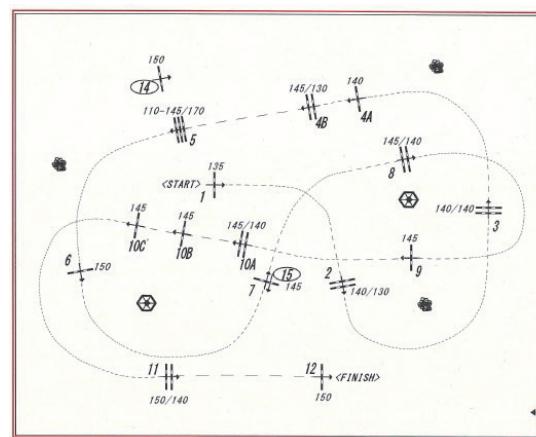
ジャンプオフ（優勝決定戦）では、タイムが速い人馬が勝利します。スピード勝負は特に盛り上がります。

●ギリギリのジャンプが生み出す迫力とスリル

馬が踏み切る位置に注目！馬の踏み切り位置は選手がコントロールしています。踏み切りが近いと前肢で、遠いと後肢でバーを落としやすくなります。選手に求められる重要な技術です。

コース図と下見

競技開始の遅くとも30分前にはコース図が公表されます。コースや障害の高さ、障害の種類などは毎回変わります。競技開始前には選手が歩で実際のコースを歩き（下見）、「どういったコース取りをするか」や「障害間を何歩で走るか」などを確認します。馬は事前にコースに入って練習することができないため、初めて見る障害物を飛び勇気が求められます。



例: 2025年 JRA ホースショー大障害のコース図



障害馬術競技のルール

大きく分けると、障害物の落下が減点となる《標準競技》と、落下をタイムに換算する《スピード&ハンディネス (S&H)》があります。

標準競技では減点が少ない人馬が上位となり、最小減点が複数いる場合には、その中で最もタイムの早い人馬が優勝するという方法と、ジャンプオフと呼ばれる優勝決定戦を行う方法があります。

スピード&ハンディネスでは落下による過失をタイムに換算し、実際の走行タイム（スタートラインからゴールラインまでにかかったタイム）に加えたタイムが早い人馬が上位となります。

障害馬術競技の解説動画はコチラ！



障害馬術競技におけるペナルティ

走行中の過失とそれに対するペナルティの例としては次のようなものがあります。

障害物の落下



拒止・逃避・反抗



落馬・馬の転倒



障害物の前で馬が止まってしまったり（拒止）、横に逃げてしまったり（逃避）、それ以外の場所であっても乗り手の指示に従わない（反抗）場合、4点減点。2回目は失権。

スタートからゴールまでの間に、落馬または人馬転倒（選手が乗った状態のまま馬が転ぶこと）するすると失権。

規定時間オーバー



標準競技の場合は、コース全長（スタートラインからゴールラインまでの距離）と要求されているスピードにより規定タイムが設定され、そのタイムを1秒超過するごとに1点の減点となります。

経路違反



決められた飛越の順番を間違えると失権。

総合馬術競技とは

総合馬術競技は馬場馬術競技・クロスカントリー競技・障害馬術競技の3種目を同一人馬のコンビネーションで3日間をかけて行う競技で、その3種目の減点合計の少ない人馬が上位となります。騎乗馬の能力を正確に把握し、クロスカントリー走行時のコース取りを綿密に計算することや、競技期間を通して馬のコンディションを良い状態に保つことが必要です。

総合馬術のメインイベント！
クロスカントリー

通常2日目に行われるクロスカントリー競技は、自然に近い状態の地形に竹柵、生垣、池、水濠、乾壕などのボリュームのある障害物が設置されます。世界のトップレベルの大会では、コースの長さは6km以上にもなり、飛越する障害物は40を超えます。そのハードなコースを分速570m(時速34.2km)のスピードで駆け抜けれる様子は迫力満点です。



総合馬術観戦のポイント！ クロスカントリーでの池の周囲は迫力満点！



水しぶきをあげて人馬が飛び込む
池の周辺は迫力満点の観戦ポイント！

●手に汗にぎる障害馬術！

最終日の障害馬術では、上位の減点が4点以内の場合、障害落下で順位が入れ替わります。まさに「1本も落とせない戦い！」

●3日間を戦い抜く、人馬の総合力と強い信頼関係

優雅さ(馬場)、スタミナと勇気(クロスカントリー)、余力と技術(障害)のすべてが問われる、まさに「最強の人馬」を決める競技です。

総合馬術競技の
解説動画はコチラ！



R.Kaji

総合馬術での重要なポイント！
インスペクション

インスペクションとは、総合馬術においては競技前(1日前日)と疲労が残っているクロスカントリー翌日(3日目朝)の計2回行われる馬の健康診断(馬体検査)です。獣医師と審判団が、馬が競技に耐えうる健康状態であるかを厳しくチェックします。



クロスカントリーにおけるペナルティ

走行中の過失とそれに対するペナルティの例としては次のようなものがあります。

落馬・人馬転倒



スタートからゴールまでの間に、落馬または人馬転倒(選手が乗った状態のまま馬が転ぶこと)すると失権。

規定時間オーバー



コース全長(スタートラインからゴールまでの距離)と要求されて同じ障害における2回目の拒止・逃避・巻き乗り減点20、定されます。そのタイムを1秒超過するごとに、0.4の減点が課されます。

障害における拒止・逃避・巻き乗り

